



16年度決算審査特別委員会

前号の
続編

防災や教育などの予算増を さまざまに指摘や要望



一月に開かれた決算審査特別委員会（決算委員会）で不認定（反対）した六項目は、前号の「ホッとニュースNo.二六」に掲載しましたが、今号は、その続編で、「決算委員会でもさまざまに指摘や要望した事項」を掲載します。（今号に載せきれなかった事項は次号に掲載します）
尚、指摘や要望した事項は決算委員長への報告に反映され、一年後の決算委員会で、「改善した結果」等が報告されるシステムになっています。

指摘・要望事項

自主防災組織の引き上げや 避難訓練に使える

防災資材の十分な配備を



阪神淡路大震災では、地震発生直後、救急車や消防車が到着する前の十五分以内に、ほとんど（八十%）の人が亡くなっています。また、その十五分間で、近所の人たちによって、多くの人たちが救出されています。

この教訓に学んで、自主防災組織をつくったり、避難訓練を行うことは緊急の課題：そこです。自主防災組織率について質問しましたら、「徳島市は三十一・五%、全国平均は六十二・五%」とのこと。「早く、全国平均並みに引き



上げるよう」指摘しました。

また「防災資材費」について質問：

「徳島市内に配備さ

れている防災資材は二十八ヶ所」との答弁。私は「視察した高知市は全小中学校に防災倉庫があり、鈴鹿市は二百四十ヶ所に自主防災倉庫を市が設置。沼津市は二百五十ヶ所の自主防災倉庫全てに、百万円の可搬式消防ポンプを設置している。こういうところにこそ、予算を増やすべき」と指摘しました。また「避難訓練に使われていない防災資材が目立つ。早急に改善を」と指摘しました。

指摘・要望事項

防災弱者対策

一人暮らし高齢者を 日頃のネットワークを



また「防災弱者対策」について質

問：「一人暮らし高齢者・三百八十世帯ほどに対策」との答弁。私は「徳島市内の一人暮らし高齢者は六千七百世帯。この全員と高齢者のみの世帯、障害者世帯などに、日頃のネットワークをつくっていくことが大切。個人情報保護もふまえながら、全庁的な体制づくりを」と要望しました。

指摘・要望事項

扉のない防潮堤の補修が実現 県で連携し水門などを改善を

私は「県の管理だが、沖洲のケーズデンキ前に扉のない防潮堤があり、平成十六年の二十三号台風で越水しかけたが、地元消防分団が土嚢を積んで防いだ。そこは今夏に扉がついたが、こんなところが市内に何力所あるのか」質問：「十八ヶ所で、全てに扉がついた」と答弁。



扉がついた
ケーズデンキ前の防潮堤

私は「沖洲の寿楽荘が、大雨の度に浸水しかけるのは、県管理の朝日水門が、上手く開閉しないことにある。県と連携を強めて、排水対策にあたるよう」強く要望しました。

指摘・要望事項

床上浸水の九割を救済した

洲本市のよつな

災害支援制度適用を

平成十六年の台風二十三号被害対策について質問：「床上浸水が五百二十五戸で、そのうち災害支援制度申請者は百四十件で、半壊と認定されたのが八十件。全壊は無しで、二階建てや店舗併用住宅は認定無し」と答弁。



二十三号台風で氾濫した園瀬川



「兵庫県洲本市はどうだったのか？」質問：「二千戸が床上浸水し、そのうち約九割・千七百戸に災害支援制度が適用された」と答弁。「同じ制度なのに、どこが違うのか？」と質問：「徳島市は申請があった所を訪問したが、洲本市は浸水した全戸を職員が訪問した。また、床面積を『弾力的に運用』したことなどが徳島市と違う」と答弁。

私は「洲本市のよつな」に『弾力的に運用』がなされるように、県に働きかけるとともに、徳島市独

自でも全戸訪問など、先進地に学び、二十三号台風被害対策の教訓を活かすよう」指摘しました。

指摘・要望事項

図書館の開館時間延長と

返却ポストを県・市併設で



「図書館」について、「県立に合わせ、夜七時まで開館するよう」また、返却ポストを市立の横に県立を並べ、市民の利便性を高めるよう」要望：「相互返却など、県で協議したい」旨の答弁でした。

指摘・要望事項

老朽化している小中学校

補修所すべて把握し

早急に改修を

「老朽化している小中学校の校舍補修について」質問：「四十〜五十年ほど経っている校舎は、小学校十校で二十四棟、中学校七校で二十一棟」と答弁。



「補修ヶ所を『何ヶ所まで』と規制していないか？」質問しましたら、「三ヶ所程でお願いしたい、と言っている」と答弁。

私は「校舎が老朽化して子どもたちが危険：『三ヶ所』とワクを入れず、補修要求を全て学校からあげてもらい、早急に改修するよう」指摘しました。

指摘・要望事項

学校の物置や図書購入は

公平性・透明性を高めるように

「学校で買う物品や図書の指定店を、どのように決めているのか？購入に際し、入札などはどのように実施しているのか」質問：曖昧な答弁だったため、「公平性・透明性を高め

るものに改善を」と指摘しました。

指摘・要望事項

ふれあい健康館

障害者を無料にした

主言を活かした改善を

ふれあい健康館の障害者・浴場使用料を、平成十六年十一月から、無料を五百円に値上げしました。その結果、十月に二千九十二人の障害者利用が、十一月は二百九十一人に激減しています。

私は「障害者無料でスタートさせた、ふれあい健康館の主言を活かし、多くの障害者の方が活用できるような料金などの改善を」指摘しました。



ホッと

ひといき

決算委員会
の報告を「ホッと
とニュース」に
シリーズで：

と、前号から書いているんですが、「国保」「介護保険」「学童保育」「基本健康検査」「敬老祝い金」「消費生活センター」：など、まだまだ残っています。次号、次々号と続きそ

うな心配：一生懸命がんばって書き出すので、「ご覧下さいね。」

二月四日は「立春」：暦の上では、もう春なんです。寒波が次々とやってきて実感が薄いです。風邪が流行っています。くれぐれもお身体を大切になさってください。

